

# 点火コイル出力4倍超

## ダイヤエレ アンモニア燃料車に道

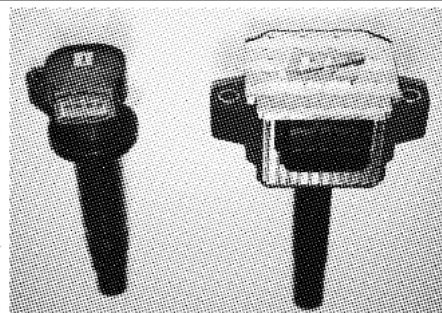
ダイヤモンドエレック トリックホールディングス(HD)は出力エネルギーが最大700<sup>ワット</sup>と業界最高水準のエンジン点火コイルを開発した。出力は一般的な通常機と比較して4倍超という。超低燃費のスーパーリーンバ

ン(希薄燃焼)やアンモニア燃料など、点火に高エネルギーが必要なエンジンの開発に大150<sup>ワット</sup>程度という。スーパーリーンバーン(希薄燃焼)は燃焼しにくい希薄ガスを高エネルギーで点火する必要があり、通常機の場合は2機を一つのシリンダーに設置する事例もある。一方、試作機のコイル部は体積220立方センチメートル、高い耐電圧性を求め、高い耐電圧性を求められる。そこでコイルの巻き線の配置や機体を封入する樹脂などの技術を改善し耐電圧

型化を実現。1機で700<sup>ワット</sup>までエネルギーを高めつつ、スーパーの小さな小型エンジンにも設置できる。試作機は2体のコイルを内蔵する。エネルギーが高密度になるため、高い耐電圧性を求め、高い耐電圧性を求められる。そこでコイルの巻き線の配置や機体を封入する樹脂などの技術を改善し耐電圧

通常の点火コイルは、2024年度にも自動車をメーカーなどと協業を始める。ダイヤエレック トリックHDが開発したのは点火コイルの試作機。一般的な通常機で、エンジンのシリンダー上に設置できる小

型の点火コイルは、2024年度にも自動車をメーカーなどと協業を始める。ダイヤエレック トリックHDが開発したのは点火コイルの試作機。一般的な通常機で、エンジンのシリンダー上に設置できる小



通常機①と超高エネルギー点火コイル

体の点火④コイル1体の点火①の四つで、これらのパターンに可変することで燃費を節約する。

圧縮天然ガス(CNG)車を燃

性を強めた。

エンジンにかかる負荷に合わせ、四つの点火パターンも備えた。具体的には①コイル2体が時間をずらす連続複数点火②コイル2体の複数点火③コイル2

が、試作機は正常に稼働を続けたという。電気自動車(EV)は高

コストや給電網の不足で成長が鈍化している。超低燃費やCO<sub>2</sub>ゼロを燃焼技術でも実現して訴求する。